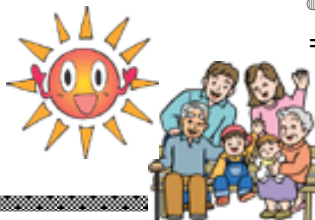


自治連だより NO. 211

安全・安心・住みよい
地域づくりのために



●発行日 令和3年12月1日
●発行 斜里町自治会連合会
〒099-4192 斜里町本町12番地
斜里町役場内
☎0152-23-3131 内線 141
不在日：土・日・月・祝日

斜里町国保病院菊一院長との懇談会

～ 住み慣れた地域で安心して生活するために欠かせない斜里町国保病院のいま ～



懇談内容 □連合会 ■国保病院

- 自治会のお年寄りが薬をもらうのに時間がかかり、待っている時間が長いと聞きました。本当なのですかね？
- 4月から原則予約制に移行するまでに当初は患者数に波があった。保険調剤薬局では、初めての患者さんの登録業務に時間を要した。ドクターも調剤薬局からの処方箋の疑義紹介等で時間が掛かったと報告を受けている。院内調剤から院外調剤に変わる際の課題であり、新設から半年経過し落ち着いてくると思います。
- 主な取り組みの中で、おっしゃっていた検診についてはどのように取り組まれますか？
- もっとやって行くことで経営的なメリットもあると思う。信頼を取り戻すということで、何としてでも取り組みたい。検診を他の委託されている機関で行っているのは、残念なことだと思っています。例えば乳腺撮影が必要な場合できないものもあるが、できるものもたくさんありますので、ぜひ前向きに取組みたい考えです。
- ワクチン接種のやり方の評判がとても良い、どなたが考えたのか、斜里町のやり方が絶品ですね。
- 私が考えましたと言いたいのですが、私ではありません。行政が一生懸命考えたのです。
- 行政 3月のスタートラインでシュミレーションを行い、それを踏まえましたが、今回の体制で一番苦労したのはスタッフです。6時間ずっと動き回ってスタッフみなさんの意気込みがないと今回はできなかった。
- 行政が全庁をあげてやってくれて医療従事者はやりやすかった。橋渡ししてくれたのは看護部長です。
- 院長は会場に張り付いて張り切って取り組んでくれました。そして3名の先生たちが外来診察を閉めることなく頑張ってくれました。事務部長の立場として報告させていただきます。
- 病院は待ち構えている時代ではない。もっと住民の方と意見交換や医療講演で話を聞いてもらい、ご意見をいただいて地域の病院として生き残れるのだと思っている。院外での活動はもっと取組みたいと考えています。